

令和5年 第4回 大仙市議会定例会

市 政 報 告

令和5年11月27日

大仙市長 老 松 博 行

令和5年第4回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、10月15日、国立競技場を会場に開催された「マラソン グランドチャンピオンシップ」において、本市出身の鈴木優花選手が、見事、一位に輝き、来年開催されるパリオリンピックの日本代表に内定しております。本市出身選手のオリンピック出場は、2016年に開催されたリオデジャネイロ大会以来となるものであり、心から敬意を表するとともに、お祝い申し上げます。

当日は、強い風雨に見舞われる厳しいコンディションでありましたが、自身3度目となるマラソン挑戦で、自己記録を一分近くも更新する素晴らしい走りを見せてくれました。日々、厳しい練習を積み重ねてつかまれたこの結果は、市民の大きな誇りであり、未来を担う子どもたちに大きな夢と希望をもたらすとともに、その実現に向けて努力する大切さを、身をもって示していただいたものと思っております。

夢の大舞台において、満面の「優花スマイル」が見られますことを、心から期待申し上げますとともに、市をあげて応援してまいりたいと考えております。

次に、ツキノワグマによる被害についてであります。

10月以降、市内各地でツキノワグマの目撃情報が相次いで寄せられており、11月24日現在の目撃件数は昨年度の約4倍となる323件にのぼり、捕獲頭数も昨年度を大きく上回る133頭となっております。また、市街地への出没が複数件確認されているほか、5件の人身被害が発生するなど、これまでにない異常な事態となっております。

被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

市では、公式SNSやホームページ、FMはなびを通じた出没情報の迅速な発信や注意喚起に加え、全庁体制で巡回パトロールを実施し警戒を呼びかけているほか、猟友会や警察をはじめとした関係機関と連携し、対策にあたっております。こうした中、県内各地で相次ぐ市街地への出没や、立て続けに発生した人身被害を受け、県の「ツキノワグマ出没警報」が11月末まで延長されたことなどから、10月30日に大仙市鳥獣被害対策協議会を緊急開催し、今後の対策方針を確認するとともに、捕獲用の檻の購入や、鳥獣害対策実施隊の活動費などに係る補正予算について、同31日付けで専決処分させていただくなど、対策のさらなる強化を図っております。

しかしながら、いまだ複数の出没や被害が確認されている状況にあり、この傾向はクマが冬眠するまで続くものと見込まれることから、県では

狩猟数の上限を引き上げるとともに、再度、警報を延長しております。

国や県においては、緊急的な支援措置を検討しているとの情報もありますので、その活用も図りつつ、引き続き関係機関と緊密に連携しながら、被害の未然防止に最大限努めてまいります。市民の皆様におかれましては、これまでにない異常な事態にあることを改めてご理解いただき、「いつでも・どこでも・誰でも」クマに遭遇するリスクがあることを念頭に、野外で活動する際は音が出るものを携帯し、可能な限り複数人で行動していただくほか、生ゴミは適切に処理していただくなど、積極的な自己防衛に取り組んでいただきますようお願いいたします。

次に、「大曲の花火」についてであります。

「第95回全国花火競技大会」が、8月26日、全国から訪れた多くの花火ファンが観覧する中、盛大に開催されました。今大会は、近年にない晴天が続いたことで、打ち上げ、観覧とも絶好の条件となった一方で、当日の気象条件から熱中症の発生が心配されておりましたが、事前の注意喚起やお越しいただいた皆様のご理解とご協力、広域消防の適切な救急対応により、深刻な健康被害に至るケースもなく、無事に終えることができました。多大なるご支援をいただいた関係機関の皆様、全国からご参加いただいた花火師の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、10月7日には、「大曲の花火・秋の章」が開催されております。

す。内閣総理大臣賞が授与される、二つの権威ある花火競技大会であります「大曲」と「土浦」の花火が夢の競演を果たしたほか、ドローンショーや尺玉100連発など、これまでにない挑戦的なプログラムも取り入れられ、ご観覧いただいた皆様に、秋の夜空に輝く芸術祭をお楽しみいただいております。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、企画部関係についてであります。

「若者チャレンジ応援プロジェクト」につきましては、相談体制の充実強化を図るため、新たに採用した地域おこし協力隊員が10月1日付けで「だいせんLabo」に着任しており、経験やスキルを活かしながら活動しております。また、若者の挑戦を地域全体で応援する機運を高めるため、11月17日に「若者チャレンジ応援セミナー」を開催しております。セミナーでは、五城目町を拠点に様々な地方創生の取組を展開している^{うしだ しゅんすけ}丑田俊輔氏を講師にお迎えし、「地域で挑戦する若者と地域の関わり方」についてご講演をいただいたほか、企画段階から本セミナーに携わっていただいている、秋田大学地域連携ゼミの学生による活動発表が行われております。今後もこうした取組を通じて、若者がチャレンジできる環境づくり、そして、そのチャレンジを応援する土壌づくりをより一層推進してまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

「健幸まちづくりプロジェクト」につきましては、9月30日、本市と連携協定を締結する企業各社のご協力のもと、大曲の花火公園を会場に「健幸モーニングウォーク」を開催しております。当日は、約300人の皆様にご参加いただき、サッカー元日本代表の加地^{かじあきら}亮氏による講演のほか、健康や食事に関するイベントブースを楽しみながら、爽秋のウォーキングを満喫していただいております。また、企業並びに従業員の皆様の健康意識向上に役立ててもらうため、本プロジェクトにご登録いただいております事業所のうち、希望される事業所に対し、自社の参加者と参加者全体の1か月あたりの平均歩数データを提供しております。

母子保健につきましては、生後2か月から1歳までの乳児とその母親を対象に、8月30日から10月17日にかけて、新たに産後サポート事業をあわせて4回開催しております。本事業は、子育て世帯を対象に実施したアンケートや、市政評価を通じていただいたニーズをもとに企画・実施したもので、のべ28組の親子が参加し、カフェタイムや産後ヨガなどを通じて、リフレッシュしながら交流を深めております。参加者からは「同じ月齢の子どもをもつ母親と交流ができて良かった」などの評価の声をいただいております。育児中の母親の気持ちに寄り添いながら、引き続き事業を展開してまいります。

次に、農林部関係についてであります。

稲作につきましては、夏以降の記録的な高温の影響により、10月25日現在の秋田県全体の作況指数が「97」、県南が「98」のやや不良と発表されているほか、JA秋田おぼこ管内における主食用米の1等米比率は、これまでにない低い水準となっており、園芸、大豆等の畑作物についても、高温障害により品質の低下や収量の減少など大きな被害が生じております。こうした状況を受け、市では、県や融資機関と協調し、農業経営の再建に必要な「農業・漁業経営フォローアップ資金」における利子補給の対象に高温障害を加えるとともに、市独自の支援策を検討してまいりたいと考えております。

「第17回大仙市秋の稔りフェア」につきましては、10月21日と22日の両日、大曲ヒカリオイイベント広場や花火通り商店街等を会場に、4年ぶりにコロナ禍前と同じ規模で開催しております。初日はあいにくの雨模様となりましたが、2日間で約1万8千人の皆様にご来場いただき、軽トラ市や地場の食材を使った「うまいもの食堂」、商工業展示、各種ステージ発表など、多彩なイベントをお楽しみいただいております。2日目となる22日には、丸子川街区公園において地元商店街と雄物川鮭増殖漁業生産組合のご協力のもと、小学生を対象とする「鮭のつかみどり」を催しており、ウライの見学や鮭料理の試食を通じて大仙市の鮭文化をPRしております。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

国内友好都市との交流につきましては、10月7日から3日間の日程で、本市の学童野球チーム「仙北オールスターズ」の選手15名と監督やコーチら3名が座間市を訪問しており、座間市選抜チームと交流試合やレクリエーションを通じて交流を深めております。

国際交流事業につきましては、8月20日から3日間の日程で、私や後藤前議長、教育長など10名で台湾^{しんぺい}新北市を訪問し、新北市副市長をはじめ、新北市政府教育局、^{しょうわこくみんちゅうがく}漳和國民中學の皆様と教育交流に関する協議を行っております。この協議を踏まえ、来年度、新北市の皆様から本市にご来訪いただいたうえで、教育交流を開始したいと考えており、その実現に向けて準備を進めてまいります。

太田地域の中里温泉につきましては、改築計画に基づき、7月に本體工事に係る入札を執行したところでありますが、応札者がなく入札不調となったことから、再度の入札に向けて積算の見直しを進めてきたところであり、今次定例会に関連する予算の補正をお願いしております。

文化財の活用につきましては、太田地域出身の仏画家で、県指定有形文化財「法隆寺金堂壁画模写」の作者として知られる鈴木空如の生誕150年を記念し、11月3日から18日までの日程で、法隆寺境内の聖徳会館を会場に特別展を開催しております。この特別展は、世界遺産登録30年を迎えた法隆寺から、展示の機会とご後援をいただいたこと

により開催の運びとなったもので、全国各地から約3,900人の皆様にご観覧いただいております。今回の特別展も弾みに、現在、策定を進めている「大仙市文化財保存活用地域計画」のもと、文化財の保存と活用を両立させながら、新たな地域活性化の資源として、観光振興やまちづくりに活かしてまいります。

「第43回全県500歳野球大会」につきましては、9月16日から20日までの5日間、神岡野球場を主会場に市内18会場で開催され、全県各地から177チームが出場し、大熱戦が繰り広げられた結果、秋田市の追分野球クラブが2年連続2回目の優勝を飾っております。

次に、建設部関係についてであります。

「国道13号大曲・秋田間整備促進期成同盟会」並びに「高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会」につきましては、10月11日から31日までの間、国土交通省や財務省、秋田県選出国會議員、秋田県などに対し、集中的に要望活動を行っております。これにあわせ、国が重点的かつ集中的に進めている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」についても、計画的な事業執行や必要な財源の確保に加え、加速化対策終了後も、継続的かつ安定的に取組を進めるため、改正「国土強靱化基本法」に基づく実施中期計画を早期に策定していただくよう、強く要望しております。

7月14日からの大雨で大きな被害を受けた市管理河川、及び市道の復旧につきましては、国の公共土木施設災害復旧事業に河川1箇所、道路3箇所を申請しておりましたが、11月8日に災害査定が行われ、事業費が決定いたしましたので、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

全国の子どもたちに演劇の感動を届けることを目的に、劇団四季が開催している「こころの劇場」につきましては、10月3日、市内の全小学校6年生を対象に、大曲市民会館で開催されております。このプロジェクトは、同劇団が、社会貢献活動の一環として2008年から実施しているもので、コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった今回の公演では、国内トップクラスの歌やダンス、演技を目の当たりにし、自然に拍手や手拍子、歓声が沸き起こるなど、未来を担う子どもたちの豊かな情操を育む一助となっております。

だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業につきましては、10月12日、大曲中学校を会場に、避難所開設訓練と地域合同防災訓練を行っております。訓練では、地域住民と中学生、防災関係者が一体となり、避難所開設訓練をはじめ、実践的な応急対策活動など10種類に及ぶ体験や見学を通じ、防災意識を高めております。

市民が主役の地域づくり講座「大仙アカデミー」につきましては、10月7日、大曲市民会館大ホールを会場に開催しており、約350人の市民の皆様にご来場いただいております。4回目となる今回の講座では、日本アイ・ビー・エム株式会社の^{はしもとたかゆき}橋本孝之名誉相談役を講師にお迎えし、「思考停止からの脱却」と題して、少子高齢化や人口減少など様々な課題を抱える日本において、新しい価値を生み出し、未来を豊かなものにするため、大仙市は何ができるのか、そして何をすべきかについて、ご自身の経験や事例を交えながら、グローバルな視点で貴重なご講演をいただいております。

本市の国登録有形文化財「旧本郷家住宅」において、12月6日から7日にかけて対局が予定されておりました「第36期竜王戦」の第6局につきましては、藤井聡太竜王が4連勝で2度目の防衛を果たされたことから、本市での対局は叶いませんでしたが、12月5日に開催を予定していた前夜祭に代え、祝賀会を開催することとしております。翌日には市内を観光していただくほか、昼食時に勝負めしをPRできる機会を設けるなど様々なイベントを予定しており、8冠達成後、初のタイトル防衛を果たされた藤井竜王が本市を訪れるこの機を捉え、文化観光の振興と地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。

最後に、令和6年度の当初予算編成について申し上げます。

本市の財政見直しにつきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の分類見直しに伴い、社会経済活動が活発化する中で、企業の設備投資意欲の高まりや雇用・所得環境の改善、個人消費の回復が進んでおり、一定の市税収入が見込まれるものの、不安定な世界情勢を背景とした物価高騰や円安基調などにより、地域経済の先行きは不透明な状況にあります。また、国においては、地方財政を含め、コロナ禍で膨らんだ歳出構造を平時に戻す方針を明確にしており、各種譲与税や普通交付税の増額は見込めず、今後も厳しい状況が続くものと考えております。

一方で、歳出については、エネルギー価格の高止まりなどにより、公共施設や学校施設に係る維持管理費などの経常経費の増加が見込まれるほか、保育料無償化をはじめとする子育て支援策の充実、脱炭素やデジタル社会に向けた新たな行政需要に対応しつつ、中央し尿処理センターの改築など社会基盤の更新も着実に進めていく必要があります。

こうした見通しのもと、令和6年度当初予算は「変化する社会情勢に対応した施策の実施、市民満足度の向上」と「10年先を見据えた持続可能な行財政の構造改革」の2点を基本方針に据え、全庁体制での子ども子育て支援策やDX、GXなど、未来に向けた積極的な投資を重点的に進めるとともに、職員一人ひとりが現下の厳しい財政状況を認識したうえで、将来世代に負担を先送りしない持続可能な行財政運営

を念頭に、行政経営の視点から創意工夫をこらしながら、未来志向の予算編成に取り組んでまいります。

また、「地方創生へのチャレンジ」など6つの重点施策については、第2次総合計画の最終年度に向け、その進捗や成果を確認しながら、優先的かつ積極的に配分してまいりたいと考えております。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和5年第4回大仙市議会定例会

市政報告（諸般の報告）

令和5年11月27日

大 仙 市

目 次

【健康福祉部】

- 1 新型コロナワクチンの追加接種について 1
- 2 大仙市戦没者追悼式について 1
- 3 大仙市金婚式について 1
- 4 自殺予防対策について 1

【農林部】

- 5 米の集荷状況について 1
- 6 園芸メガ団地について 2
- 7 肥料価格高騰対策事業について 2
- 8 畜産振興について 2
- 9 鮭資源確保活用事業について 2

【観光文化スポーツ部】

- 10 各地域の夏まつり行事について 3
- 11 文化財の保存・活用について 3
- 12 スポーツ合宿について 3
- 13 スポーツイベントについて 3

【建設部】

- 14 中良野橋橋梁架替工事について 4

【教育委員会事務局】

- 15 「こころのプロジェクト 夢の教室」について 4
- 16 四ツ屋公民館改築事業について 5
- 17 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて 5
- 18 第40回東北将棋大会及び第18回大仙市民交流将棋大会について
..... 5
- 19 「NHKのど自慢」について 5
- 20 「だいせん読書の日」関連イベントについて 5
- 21 大仙市音楽祭2023について 6

【上下水道局】

- 22 上水道事業について 6

23	簡易水道事業について	6
24	下水道事業について	6

【経済対策】

25	物価高騰対策	5月臨時会	7
26	物価高騰対策	6月定例会	7
27	物価高騰対策	9月定例会	8

【健康福祉部】

1 新型コロナワクチンの追加接種について

生後6か月以上のすべての方を対象とする新型コロナワクチンの追加接種につきましては、9月20日に接種を開始し、11月20日時点で全市民の21.3%にあたる16,095人が接種を終えております。集団接種は年内をもって終了し、来年1月以降は個別接種で対応してまいります。

2 大仙市戦没者追悼式について

9月29日、仙北ふれあい文化センターを会場に、大仙市戦没者追悼式を開催し、戦没者遺族をはじめ関係者98名の参列のもと、戦没者を追悼するとともに平和への思いを新たにしております。

3 大仙市金婚式について

10月19日、大曲市民会館小ホールを会場に金婚式を開催し、申し込みのあった52組のご夫婦の結婚50周年を祝福しております。

4 自殺予防対策について

自殺予防対策につきましては、こころの健康や自殺予防に関する知識を身に付けていただき、市民の皆様にとって身近な傾聴ボランティアとして活動していただくため、7月6日から11月21日にわたり「メンタルヘルスサポーター養成講座」を5回コースで開催し、24名が受講しております。また、「こころの相談窓口」に早期につながるため、市内の大規模商業施設や秋の稔りフェアにおいて街頭キャンペーンを実施しております。

【農林部】

5 米の集荷状況について

J A秋田おぼこ管内における令和5年産米の集荷数量につきましては、11月17日現在で57,524トンとなっており、昨年と同時期と比較して4,221トンの減となっております。

また、昨年から本格的に栽培されている本県の新ブランド米「サキホコレ」につきましては、同管内において241名の農業者が生産した393トンが品質・出荷基準をクリアし、県内外に出荷されてお

ます。また、大仙市産サキホコレの精米300キログラムが11月から順次シンガポールに輸出されており、12月16日と17日の両日、現地において生産者をはじめとする関係者が参加し、販売イベントが開催される予定となっております。

6 園芸メガ団地について

中仙地域で生産されているトマトにつきましては、猛暑の影響による着果不良のため全県的に収穫量が減少しており、10月末時点の収穫量は前年の8割ほどにとどまっておりますが、1キログラムあたりの市場価格は、昨年と比べ10円ほど高めで推移していると伺っております。

大曲地域内小友地区で生産されているネギにつきましては、7月14日の大雨によるほ場への浸水に加え、その後も不順な天候が続いたことにより全体的に細く、収穫量も落ち込んでおりますが、生産者の適切な管理により、約4ヘクタールに作付けしたすべてのネギが収穫、出荷可能であり、今月末までに収穫が完了する予定と伺っております。今後も関係機関と連携を図りながら、安定した収量の確保に向けて支援してまいります。

7 肥料価格高騰対策事業について

化学肥料を1割以上低減する取組を行った農業者に対し、前年度の肥料価格から上昇した額の7割を助成する国の肥料価格高騰対策事業につきましては、実施主体である肥料販売事業者を通じ、10月末までに市内ののべ3,258経営体に対し、約2億5千万円が交付されております。

8 畜産振興について

令和9年の「第13回全国和牛能力共進会」への出品を目指す大曲農業高校につきましては、11月に地元肉用牛繁殖農家から2頭の繁殖雌牛を導入し、今後の飼育管理研修を経て、来年度の県内共進会への出品を目指しております。引き続き県やJA、畜産関係団体、地域の若手畜産農家などと連携しながら、取組を支援してまいります。

9 鮭資源確保活用事業について

遡上するサケを捕獲する「ウライ」につきましては、9月23日と30日にそれぞれ丸子川と玉川に設置し、親魚の捕獲と採卵を開始し

ており、11月20日時点で758尾を捕獲しております。全国的に不漁となっておりますが、引き続き放流に必要な卵数の確保に努めてまいります。

【観光文化スポーツ部】

10 各地域の夏まつり行事について

各地域や地区において、特色豊かな夏まつり行事が次のとおり開催されております。

8月5日	第13回太田の夏まつり（太田地域）
8月14日	角間川盆踊り（大曲地域）
8月15日	まつり彩夏せんぼく2023（仙北地域）
8月15日	第36回ふるさと西仙まつり（西仙北地域）
8月16日	第7回南外盆踊り（南外地域）
8月16日	第39回ドンパン祭り（中仙地域）
8月20日	夏まつり大曲2023（大曲地域）

11 文化財の保存・活用について

10月11日、小学生と保護者あわせて11人が参加し、「角間川ふるさと体験ワークショップ」を開催しております。旧本郷家住宅でのクイズラリーやオリジナル落款づくりなどを楽しんでおります。また、10月13日には、昨年、重要文化財の指定を受けた内小友地区の佐藤家住宅において、初めてとなる特別公開を実施しております。午前と午後の部にあわせて40人が参加し、解説を交えながら、銘木をふんだんに使用した明治期の近代和風住宅を見学していただいております。この特別公開には、定員の倍以上の応募をいただいたほか、参加者からは、また公開してほしいとの意見が多く寄せられております。

12 スポーツ合宿について

スポーツ合宿につきましては、首都圏の大学を中心に、15団体、のべ2,615人が市内宿泊施設を利用して合宿を行っております。

13 スポーツイベントについて

10月1日、秋田県が主催する「25市町村対抗駅伝大会」が、由利本荘市を会場に開催されております。ゴールとなるナイスアリーナを目指し、24.22キロメートルのコースを選手8名が襷をつな

ぎ、本市は全体で10位の成績を収めております。本大会は、一部の市町村において選手の確保が困難となったことを受け、今回をもって休止することとなっております。

ふれあいスポーツランドソラーレにおけるイベントにつきましては、10月14日、大仙市スポーツ協会大曲支部との共催で、サッカー元日本代表の中田浩二氏と本山雅志氏を講師にお迎えし、サッカークリニックを開催しております。大仙市スポーツ少年団や中学・高校のサッカー部員など70人が参加し、技術指導やミニゲームを通じて、ハイレベルなプレーに直に触れる貴重な機会となっております。また、翌15日には、一般財団法人世界少年野球推進財団が主催する「J A全農W C B F少年野球教室」が開催されており、中畑清氏やW B C侍ジャパン監督に就任した井端弘和氏をはじめ、元プロ野球選手4名、トレーナー、栄養士を講師にお迎えし、参加した小学生や指導者約145人に向け、技術指導や講習などを行っていただいております。

【建設部】

14 中良野橋橋梁架替工事について

秋田県が実施している福部内川の河川改良事業にあわせ、県との基本協定に基づき、令和3年度から県が進めてきた市道変電所松ノ木線に架かる中良野橋の橋梁架替工事につきましては、11月30日に完成し、12月8日に供用を開始する予定と伺っております。

【教育委員会事務局】

15 「こころのプロジェクト 夢の教室」について

スポーツや芸術において第一線で活躍された方を、「夢の先生」として小・中学校にお招きする「こころのプロジェクト 夢の教室」につきましては、9月25日と26日の両日、J F Aから2名の夢先生を派遣していただき、開校しております。新体操選手として北京オリンピックに出場した坪井保菜美氏を仙北中学校に、サッカー選手としてベガルタ仙台で18年間プレーをした富田晋伍氏を大曲南中学校と角間川小学校にそれぞれお招きし、ゲームやトークを通じて夢をもつことや、その実現に向けて努力する大切さを理解する機会となっております。

16 四ツ屋公民館改築事業について

四ツ屋公民館改築事業につきましては、8月に本体工事が完了したことから、9月27日に竣工式を執り行い、10月1日に供用を開始しており、現在は、旧公民館の解体工事を進めております。

17 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて

地域資源に対する学習意欲のさらなる向上を目指す大仙市ふるさと探訪楽園ツアーにつきましては、秋のツアーとして、9月23日の自然・歴史探訪を皮切りに、4つのコースでツアーを実施しております。ふるさとの魅力を再認識するとともに、健幸まちづくりプロジェクトやふるさと博士育成事業との連携により、健康づくりや地域への理解を深める機会となっております。

18 第40回東北将棋大会及び第18回大仙市民交流将棋大会について

11月23日、大曲交流センターを会場に「第40回東北将棋大会」及び「第18回大仙市民交流将棋大会」が開催されております。日本将棋連盟に所属するプロ棋士2名を招待し、東北各地の実力者同士による名人戦をはじめ、実力に応じたクラスごとの対戦を通じて交流を深めております。また、本大会の関連イベントとして「大仙市小学生将棋対抗戦」が開催されており、小学生が熱戦を繰り広げたほか、前日イベントとして、放課後児童クラブを利用する児童を対象とした「子ども将棋講習会」も実施し、将来を担う子どもたちが将棋の魅力に触れております。

19 「NHKのど自慢」について

10月15日、大曲市民会館大ホールを会場に、NHKのど自慢の公開生放送が行われております。前日の14日に約200組が出場し予選会が開催され、当日の本選には予選を通過した20組が出場しております。ゲストには郷ひろみさん、山内恵介さんと豪華な顔ぶれで、司会の二宮アナウンサーとともに会場を大いに盛り上げていただいております。

20 「だいせん読書の日」関連イベントについて

11月2日の「だいせん読書の日」に関連するイベントとして、大曲図書館を会場に、11月2日から14日にかけて本をあげたい方とほしい方をつなぐ「ONE BOX LIBRARY」を開催しております。また、

市内に在住または在学されている方から募集した推し本を紹介する「わたしの推し本コンテスト」の作品を大曲図書館に展示しているほか、各図書館において幅広い年代の読書を推進するための関連イベントを実施しております。

21 大仙市音楽祭2023について

11月12日と13日の両日、大曲市民会館を会場に「大仙市音楽祭2023」を開催しております。初日は、幅広い世代の愛好者による音楽会や、横濱音泉倶楽部による「大人のジャズコンサート」を行っております。2日目には、「0歳からのジャズコンサート」に続き、中学生・高校生を対象とするクリニックを実施しており、多くの皆様に参加をいただいております。

【上下水道局】

22 上水道事業について

老朽化した配水管の改良工事につきましては、11月2日に大曲地域の東川字前田表地内の工事が完成しております。また、大曲あけぼの町及び大曲丸子町において進めている工事につきましては、12月中旬の完成に向け、順調に進捗しております。

23 簡易水道事業について

大曲地域の内小友中山地区において進めている水道未普及地域解消事業につきましては、3月末の供用開始と事業完了を目指し、南外字大畑潜沢地内において配水ポンプ場の整備を進めております。

また、西仙北地域刈和野地区の配水管更新・改良事業における配水管仕切弁設置工事につきましては、12月中旬の完成に向け、順調に進捗しております。

24 下水道事業について

大曲地域の佐野町・朝日町地内における管渠改築工事につきましては、1月中旬の完成を予定しております。

また、西仙北地域の川里地区農業集落排水施設機能強化事業につきましては、マンホール蓋更新工事が12月上旬、機械設備改修工事が12月中旬、マンホールポンプ設備改修工事が3月上旬の完成に向け、それぞれ順調に進捗しております。

【経済対策】

25 物価高騰対策 5月臨時会

(1) 住民税非課税世帯への支援事業

令和5年度の住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を給付するもので、11月17日までに9,536世帯への支給を完了しております。

(2) 住民税均等割のみ課税世帯への支援事業

令和5年度の住民税均等割のみの課税世帯に対し、1世帯あたり3万円を給付するもので、11月17日までに1,988世帯への支給を完了しております。

(3) 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

児童扶養手当受給世帯、または令和4年度の住民税非課税世帯等に対し、児童1人あたり5万円を給付するもので、10月末現在で児童1,407人分の給付金を支給しております。

(4) 配合飼料高騰対策支援事業

令和5年1月1日現在、市内に住所または事業所を有し、令和5年度末まで営農継続の意思があること等の要件を満たす畜産経営体に対し、令和5年1月から3月までに納品された配合飼料の数量や肉用牛等の飼養頭数に応じて給付金を支給するもので、6月末までに申請を受け付け、13,670千円を支給しております。

(5) 就学援助費受給世帯への支援事業

物価高騰の影響により、日常生活の経済的負担が増加している就学援助受給世帯（「子育て世帯生活支援特別給付金」の受給世帯を除く。）に対し、児童生徒1人あたり3万円または5万円を給付するもので、10月16日までに20世帯へ1,280千円を支給しております。

26 物価高騰対策 6月定例会

(1) ゼロカーボンシティ推進事業

一般家庭の自家消費を目的とした太陽光発電設備や蓄電池の導入、並びに電気自動車（EV）及びプラグインハイブリッド自動車（PHEV）の購入と充電設備の設置に対し助成するもので、

11月17日時点で29件の申請を受け付けております。

(2) 社会福祉施設等物価高騰対策支援事業

物価高騰に伴う社会福祉施設等の光熱費の負担軽減を図るため、施設運営費の一部を助成するもので、9月29日に受付を終え、申請のあった介護保険事業所103事業所、及び障がい福祉サービス事業所33事業所に対し、総額36,548千円の支給を完了しております。

(3) 保育所等物価高騰対策事業

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける幼児教育・保育施設に対し、光熱水費等の一部を助成するもので、8月25日に、対象となる27施設に対して総額11,108千円の支給を完了しております。

(4) 電気料金高騰経営支援事業

一定の要件を満たす高圧契約事業者に対し、1事業者あたり50万円を上限に給付するもので、7月3日から8月31日までの申請期間において、61事業者からの申請を受け付け、16,944千円を支給しております。

27 物価高騰対策 9月定例会

(1) 高圧電気契約事業者支援事業

一定の要件を満たす高圧契約事業者に対し、1事業者あたり100万円を上限に給付するもので、10月2日から11月17日までの申請期間において、25事業者に6,838千円を支給しております。

(2) 特産品発送支援事業

本市特産品の販売を促進することで消費を喚起し、販路拡大につなげることを目的に、3千円以上の特産品を購入した場合に送料の助成を行うもので、12月の開始に向け準備を進めております。